

第6次生馬地区地域福祉活動計画



絵 福井征志郎



生馬地区社会福祉協議会

第6次生馬地区地域福祉活動計画のスタートに向けて

平成31年度からスタートした「第5次生馬地区地域福祉計画」は令和5年度で終了を迎え、令和6年度から新たに「第6次生馬地区地域福祉活動計画」（以下6次計画と略）を策定しスタートしました。

令和2年の年末頃から流行したコロナ感染症禍のため人の移動や交流が制限され、公民館を中心とした事業やイベントが中止や延期となることが多々ありました。そのような中でも地域福祉計画は留まることなく、地域の町内・自治会の役員の方々や福祉推進委員のご協力を賜り、推し進めてくることができました。

さて「6次計画」策定にあたり、5次計画の反省・見直し作業が必至でした。福祉推進員の活動アンケート、防災研修会・町内会長自治会長会意見交換会のまとめ、福祉計画策定委員会での検討などを基に「6次計画」の基本方針を立てていきました。生馬地区社会福祉協議会の福祉目標『住むなら生馬、安全で安心して暮らせる魅力あるまちづくり』は継続しつつ、具体的な活動目標を立てて構成していきました。目標の骨子は地域住民の“健康”と“交流”であり、多くの情報を発信し多様なニーズを知り、伝えることが魅力あるまちづくりにつながることを願っています。

これらの目標を実現するためには、生馬公民館で活動している各団体(地区社協、健康まつえ21推進隊、福祉推進員連絡会、食生活改善推進員会、町自連、寿会、民児協、要配慮者支援組織、青少年を育てる会、若馬会、スポーツ推進員、交対協、交通指導員、地域安全推進員会、消防分団、更生保護女性会、母子保健推進員)の皆様と連携して活動を進めてまいります。

目標を立てて終わりではなく年度ごとに振り返り、計画の進捗状況の確認と点検をしながら今後5年間の「6次計画」を遂行してまいります。地域住民の皆様にはこれらの計画にご協力と見守りをお願いし、福祉目標の実現の喜びを分かち合いたいと思います。よろしくお願いいたします。

おわりに「6次計画」の策定にあたり、ご協力いただいた市社協の宮廻浩彰様、市健康福祉部保健センターの橋本柚希様に厚くお礼申し上げます。

令和6年3月

生馬地区社会福祉協議会
会長 細井利美

目 次

第1章 生馬地区の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第2章 生馬地区の現状と今後の課題・・・・・・・・・・ 2

防災を核とした地域活性化活動研修会意見交換会まとめ

町内会長・自治会長会 町内会活動についてまとめ

第3章 第6次生馬地区地域福祉活動実施計画・・・・・・・・ 3

「第6次生馬地区地域福祉活動計画策定委員名簿」

第1章 生馬地区の概要

<地理的概況、産業構造>

生馬地区は、松江市のほぼ中央北部に位置し、北は鹿島地区南は法吉地区に接しています。自然豊かな古くからの農村地帯でしたが、近年住宅団地造成等により混住社会が顕在化しています。

<人口及び世帯数>

※松江市統計情報データベースより

	第6次計画策定時 (令和5年)
人口	3,424人
世帯数	1,618世帯
自治会加入率	65%
年少人口(15歳未満)	415人
就学前人口(0~6歳)	200人
65歳以上人口	1,021人
高齢化率	29.82%
高齢者世帯数	470世帯
65歳以上独居世帯数	260世帯

第2章 生馬地区の現状と今後の課題

【防災を核とした地域活性化活動研修会】

令和5年9月24日（日）10:00～



【町内会長・自治会長会】

令和5年12月8日（金）17:00～



資料 防災を核とした地域活性化活動研修会意見交換会まとめ
町内会長・自治会長会 町内会活動についてまとめ

9月24日（日）防災を核とした地域活性化活動 意見交換 記録表 まとめ

資料

自治会名	メモ(意見・課題・困りごと)	除雪機導入について	体制づくり	除雪機指導会日程決め
上佐陀	<ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップの周知(町内土砂災害が起こりやすい場所など) ・町内の生活道路の草刈り(自分の家のまわり以外) ・町内の中で防災の組織的なものを作る ・前川の土砂の堆積や草 	上佐陀町内会での予算的には導入できる(要検討)	町内での防災、雪かきの組織づくり(町内会長・消防団・民生委員・その他サポートできる方)	
下佐陀上	<ul style="list-style-type: none"> ・役員の高齢化 ・技術力の低下(引継ぎ) ・ギャップ(考え方の違い) ・話し合いの場が少なくなった ・町内の行事が多い(役員) 	町内では無理(積立をする?)	町内でできるやり方をするが、人・機会は固定されるため、事前の連絡をしなければならない	
下佐陀下	<ul style="list-style-type: none"> ・体制づくりが必要(自主防災) ・全戸アンケートを取ってみては←まずは体制を作ってみるところから! ・自宅のことから優先される ・災害時の開場に何がいるか ・ストーブ・トイレ・発電機・町内会費だけでは足りない ・町内組織の見直しも必要か、リーダーを誰がやるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・バックホーが2台あるが全てかくことはできない。 ・除雪機導入は要検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織を立ち上げて検討 	
西生馬	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化 若い人が少なく活動ができない・人数が集まらない ・コロナ禍で集まれない状況が続いている ・つながりが減った→何が必要か必要でない物を見極める必要では ・若い人の少ない — 多様化→動けない ・自治体:自分たちでといわれるが↓ ・公助がないと立ち行きが不安・公助必要 ↑自分たちでできることができなくなってる ↑自助が無理 — 人とのつながりもできなくなってる ・防災に関しては残ったものでやるしかない ・現状にあったやり方でするしかない ・運動会も同様に言える 	検討の余地はある…あった方が良いが使い方を		
湍苑団地	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進み活動がなかなかできにくい ・運動会への参加も少なくなっている ・コロナで失われた4年間をどのように復活させるのか ・現状に添ってその内容を検討してどこに力を入れるのかを考えないといけない ・住民の働き方もいろいろになっているので、もっと公助を増やしてもらいたい(住民サービスをもっと考えて欲しい) ・公民館行事特に体協行事については今まで通りにならないと思われる ・自助を強調されてもそれだけでは今は成り立たないと思う。 ・高齢化が進んでいるので、町内ごとにできる活動をするしかない ・【消防団】…地域の若い人が外へ出て帰ってこない。生馬地域の魅力をもっと高めないといけないのでは? 	<ul style="list-style-type: none"> ・湍苑は除雪機があっても雪を飛ばす場所が無いので。除雪機が使いにくい。 ・高齢者で手仕事で除雪するしかない ・この除雪機は歩くための除雪のようだが、車を通すためには難しい ・除雪した雪を捨てる場所を確保することが必要(歩道の縁石を取ってもらうと緊急時車を停めることができるので市や県に対応して欲しい) ・除雪機は必要 	高齢者が高齢者を見なければならぬ中では工夫が必要	

東生馬・生馬が丘団地	<ul style="list-style-type: none"> ・独居幹線道路まで、除雪隊などが必要では ・北道路での環境変化・・・町内での検討が必要 ・除雪機の購入、お金はあるが誰が使うのか、2台あれば両(東西)道路から除雪ができる。生馬が丘は1台(個人)あり、保管場所がない。 ・防災倉庫がない。河があふれる。過去の災害から備品をそろえる。 ・生馬が丘団地独居件数、リストはあるが顔合わせができてない。相手がわからず難しい。 ・生馬が丘団地雪をかいていないところあり、住民の意識の問題では。(除雪隊の結成は必要)→消防団員がいない。町内役員が毎年交代する。 ・地図に要配慮者を落とす。薬手帳(マグネットで貼る)救急医療情報(消防署か防災安全課)を公民館から依頼しては(全戸が必要では) ・※防災用品を確認して、町内で不足分があれば抽出し、防災倉庫を建設できればよいが。除雪機は2台必要。環境で除雪機を結成。組織が続くような人たち。毎年変わらぬ体制がよい。 	除雪機導入は必要である。(東生馬町は1台。生馬が丘団地は保管する場所がない)	雪かき隊を作る(メンバーは継続できるように、毎年変わらず)雪かきルートを選択する。生馬が丘団地は役員が毎年交替し体制の継続が難しい。東生馬町は環境保全会のメンバーを中心に組織できる(メンバーは毎年交替しない方がよい)	
薦津	<ol style="list-style-type: none"> 1、通学路の除雪ができず休校になった(2日) 2、個人的な除雪では捨て場がない 3、除雪機の運転は誰ができるか?使用する順番は? 4、個人宅の入口～玄関までの除雪はできない家もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生馬で保有している除雪機台数を増大する。⇒町内で協力する(金銭面) (・各地区における対応は ボランティアによる除雪をする) ・各地区必要な家をリストアップしておく 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当を決めておく(必要なところ) ・「見守り愛会」で対応することでスタートすればよいのでは? ・「見守り愛会」と「町内」で協議して対応する。 	
浜佐田灘	<ol style="list-style-type: none"> 1. 防災組織(除雪隊も含む)の立ち上げ検討 2. 防災支援備品の備蓄(倉庫の設置) 3. 災害時安否確認の為に世帯構成員の把握の方法 4. 活動時の対人・対物・自損事故の補償(保険加入) 	補助金は町内会として他の補助を受けているため向こう5年間申請できないので、その間は個人の除雪機を借用する	<ol style="list-style-type: none"> 1、隊の構成員の検討 2、対象順位は主要道路確保で通学路(主にバス路線)、消火栓周囲、雪の為に生活に支障がある高齢者宅及びしょうがい者宅周囲 	当面は借用する機械で定期的訓練
椎の木	<ul style="list-style-type: none"> ・カズラの除去を誰がするか ・ハチの対策(自治会で行う) ・草刈り(のり面等)を早くやってもらいたいクリーンまつえまでに ・水道の元(全世帯で止水した時など)の管理が自治会でできない 	・使いたいけど運搬の手段がないので・・・	機会があれば体制づくりは可能である	その都度行う

12月8日(金)各地区町内会長・自治会長会 町内会活動について【まとめ】

資料

上佐陀

コロナ禍前の行事・活動が戻ってきて、自治会の体制づくりは大変だった。ただ、今年度活動をしてみて、町内活動をすることは大切だと感じた。若い世代が参加しやすい活動をしていきたい。

下・上

毎月27日 日常会実施。酒席有りの懇談会開催。役員ができる世帯は7割なので重複して役割を担っている。ジェネレーションギャップがあり、自治会活動のとらえ方の違い有。

西生馬

今年度のスポーツ大会はあまり参加していない→チーム作りが難しい。チーム作りの為高齢者を入れるにもけがの内容に配慮がとても必要なので、“無理せず参加しよう”という考え方。町内会長・副会長など役職に就く人がない。草刈り作業大変。機械を使える人がいないので、除草剤使用も検討している。

薦津

スマホでLINEグループを作成。やり取りをLINEですること、役員間の考え方がスムーズに共有できた。福祉活動は福祉推進員に意見を聞いたら大変と回答あり。今まで任せきりだったのを変えることとした。町内会の役員に入ってもらい予算立ての段階から福祉の事業予算も一緒に立てることとした。R6～薦津町の福祉事業として行うこととする。

湍苑

高齢化で役員選考に困っている。草刈りを外注に変更。草刈り後の草の収集・捨てる作業は高齢者でやっている。若い世代は土日忙しいため。福祉活動:定期的にスポーツにて交流。

東生馬

除雪機購入について検討(補助金使用検討)。

客の尾

自治会長が高齢者。役員の担い手がない。広報等の配布物は自分ではできないので他の人に頼んでいる。

浜上

もとは少数の軒数だったのが、今は 115 軒となっている。4 分の 3 が新しい世帯。運動会は子どもも多くにぎやか。

集会所は全員入れないので、代議員制。現在は会長：前から在住の方が就任。副会長：最近はいられた世帯の方が就任としている。今後は輪番制とする→R6～順番に回すことに

スポーツ部というものがあり、運営してもらっている。町内から補助金を少額渡している。

防災について 消防団さんお世話になっている 自主防災 見守り隊 など

浜灘

活動はできている。大人数での活動はしていない(納涼会など)

高齢者：趣味の会などで集まっている。

役員の担い手がない。体育祭選手集めも大変となってきている。

文化作品展等が交流の場となっている。

椎の木

役員 8 名を輪番制としている。細かいものが苦勞している。

体育祭：テント設営苦勞した

草刈り：市から 2 回来ている(?)クリーンまつえの後に来た(?)

生馬が丘団地

会長の担い手がない。

スポーツ大会：参加者いない。役員が一本釣りか、役員が出るか。

環境美化活動：ボランティア活動担い手が高齢化。若い人が担うのが難しい。“しきの会”中心で環境美化活動をしてもらうこととしている。うまくいくかどうかは今後わかる。

避難・雪かきアンケート調査を実施。支援できる人・支援される人の調査含む。作業に対して自治会保険をかけている。

梶

毎年役員・入居者が変わる。自治会活動になかなか参加できていない。今年度、子ども会にてコロナ禍前に行っていた映画観賞会を企画したが、誰も参加希望がなかった。できる限り自治会活動に参加していきたい。

第3章 第6次生馬地区地域福祉活動実施計画の概要

福祉目標の設定

「住むなら生馬 安全で安心して暮らせる 魅力あるまちづくり」

第5次計画から引き続き生馬の福祉目標としました。



第6次生馬地区地域福祉活動 実施計画表

福祉目標

「住むなら生馬 安全で安心して暮らせる 魅力あるまちづくり」

令和6年3月

	活動名	活動目標	具体的取組内容	2024	2025	2026	2027	2028	実施・協力団体
ふれあう・交流する	健康まつえ21推進隊活動の充実	健康なまちづくり	健康まつえ21推進隊活動 ・けんしん啓発 ・健康づくり研修会 ・推進隊員についての見直し ・家庭でも出来る「転ばぬ先の健康体操」の普及・指導 ・健康的な食の啓発 ・いきいきウォーキング ・「転ばぬ先の体操」教室 ほのほの通信等の活用による啓発 ネットワーク生馬の活用による啓発	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	松江市 健康まつえ21推進隊 食生活改善推進員会 地区社協 公民館
	生馬地区福祉活動	生馬ふれあいづくり	各地区ふれあい福祉活動 ・なごやか寄り合い事業 ・ミニデイサービス事業 ・要配慮者支援事業 ・寿会地区活動 ・見守りネットワークづくり ・ミニふれあい福祉大会 ふれあい健康ポイント配布	検討継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	地区社協 福祉推進員連絡会 公民館 町自連 寿会 要配慮者支援組織 民児協
			・世代間交流事業 (伝統行事・お抹茶・ニュースポーツ・障がい者スポーツ等) ・交流についてニーズの把握 ・こうまっこ(乳幼児教室)開催 ・わいわいサロンの開催 ・妊産婦からスタート子育て情報交流 ・出産祝い贈呈	検討・実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	地区社協 公民館 寿会 青少年を育てる会 福祉推進員連絡会 松江清心養護学校 小学校 スポーツ推進員 松江市 母子保健推進員 民児協
知り・伝える	福祉関係研修会の開催	研修会・講座の開催	研修内容の充実 福祉関係者合同研修 障がい者の理解と交流を深める 認知症を知る・相談先を知る 生馬地区の障がい者施設・高齢者施設との交流	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	地区社協 公民館 町自連 民児協 福祉推進員連絡会 要配慮者支援組織 松江清心養護学校 生馬の郷 ひさご苑
	魅力ある情報発信	広報誌・啓発誌発行	取組事例を多く掲載し定期的発行 ・社協だより年1回発行 ・ほのほの通信適宜発行 ・公民館 ネットワーク生馬に掲載 ・生馬公民館ホームページの活用 便利帳見直し加筆修正 ・生活・福祉サービス情報の提供	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	地区社協 公民館
見守り・支え合い	地域の安全・防災活動	多様な地域内見守り活動の充実	地域安全パトロールの実施(青パト) こども110番の再点検	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	交対協 交通指導員 地域安全推進員会 小・中学校 小・中学校PTA 青少年を育てる会
	見守り活動	地域別共助カアップ体制の整備	福祉調査(対象65歳以上) 訪問活動(弁当配食)(友愛訪問) 要配慮者支援 移動手段 移動販売車導入 フードバンクの取り組み	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	地区社協 公民館 町自連 民児協 福祉推進員連絡会 消防分団 寿会 市社協 松江市 要配慮者支援組織
組織の充実	魅力あるまちづくり	生馬地区各団体との連携充実	福祉推進員の活動 各団体年間活動の連携強化 第6次福祉活動計画の進捗状況と中間評価	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	地区社協 公民館 町自連 民児協 寿会 若馬会 福祉推進員連絡会 青少年を育てる会 健康まつえ21推進隊 食生活改善推進員会 交通安全対策協議会 消防分団他 更生保護女性会 母子保健推進員